

RAINBOW

病院理念

患者中心の良質な医療と地域医療への貢献



中国労災病院

日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

広島県指定がん診療連携病院

◎ホームページにも、いろいろな情報を掲載しています。

中国労災

検索

新年のご挨拶

院長 榎野 新

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

当院では一昨年5月地域医療連携室を改修し、「患者サポートセンター」として発展的に改組しました。

今までの地域医療連携室は主に「前方支援」、すなわち地域の連携医の先生方から患者さんを如何にスムーズに受け入れるか、ということを中心として体制を作ってきました。もちろんこの支援も重要であるためこれまで通り力を入れていきます。

しかし、回復期・慢性期医療が『在宅』にシフトしていくなかで、急性期医療から回復期・慢性期医療にシームレスにつなげていくには、これまで以上に「退院支援」が重要になってきます。

これは患者さんが退院した後の生活・治療についての方向性を患者さん自身、地域の医療・介護機関等と情報共有して、皆で患者さんを支援していこうとするものです。

患者サポートセンターでは、患者さんの退院支援により、地域と連携しながら患者さん一生涯の健康が維持できる体制を作っていきたいと考えています。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

患者さんの声にお答えします

—投書箱より—



◎ テイルームの本をもっと増やしてほしいです。

⇒ ご意見いただきありがとうございます。当院では、年に1回程度、整理・入れ替えを行っておりますが、寄付等で頂いている書籍であるため、種類等に限りがあります。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

◎ 病室で長時間、何度も携帯電話を使用する方を見かけます。そもそも病室での携帯電話の使用は禁止ではないのですか？

⇒ 病室での携帯電話の使用については、入院時のオリエンテーションの際に説明させていただいており、大部屋では携帯電話をマナーモードとし、病室での通話は控えさせていただくこととしています。

使用している患者さん等を見かけられましたら、「病棟内での使用可能場所」について説明いたしますので、お手数をおかけしますが、スタッフまでお声掛け下さいませようお願いいたします。